

Web Designing Web マスター
足立裕司の

リニューアル覚え書き

Web Designing 公式サイトをリニューアルした際のちょっとしたポイントを紹介

サイトも併せて見てください

text Web マスター
足立裕司 (9031) <http://9031.com/>



フリーランスの Web デザイナー。本誌01号(2001年)から現在まで Web Designing 公式サイトの Web マスターを担当。また本誌2001年から2003年までは「Web SPICES」を連載。初のiOSアプリ「Will Return」を8月にリリース。
<http://willreturn.at/>



Web Designing の公式サイトを、2012年7月18日に全面リニューアルしました。「今どきのサイトの標準的仕様+α」をコンセプトに、デザイン、使い勝手、コーディング、スマートフォン対応など、さまざまなアップデートを行っています。
<http://book.mynavi.jp/wd/>

Vol.2 CSS3で最適化されたディテール表現と非対応ブラウザ対策

7年半ぶりのリニューアルにあたり、ソースの全面的なHTML5化とCSS3の導入を行いました。たとえば、ボックスのシャドウや角丸、背景のグラデーションや半透明、ボタンの立体的表現など、UIまわりでこれまで画像を使用していた部分を、ほとんどCSS3化しました。その結果、誌面やバナーの画像以外では、小アイコン用のCSSスプライト画像しか使用していないくらいにまで、構造がシェイプアップされました。

IEについては、バージョン7以上を対象としました。CSS3に未対応のIE 8以下には、CSS3セレクタに対応させるスクリプトなどを一括適用して、見栄えを簡単にCSS3に合わせる方法と、IE独自の仕様で個別に対応する方法が考えられます。本サイトの場合は後者に近い方法です。IE 8以下では、見た目のリッチ感はやや損なわれるものの、IE独自のfilterを利用して、CSS3的な代替効果を必要最小限な範囲で施しています。

CSS2以下の仕様では、:before / :after 擬似要素を多用することで、従来のUI構造のための画像や空タグを削減してHTMLをすっきりとした構造にすることができました。:before / :after 擬似要素に対応していないIE 7対策としては、GoogleCodeのIE8.js (<http://code.google.com/p/ie7-js/>)を適用し、大きな差異なく使用できるようしています。IE 8以下をHTML5対応にさせる方法としてはGoogleCodeでポピュラーなhtml5.js (<http://code.google.com/p/html5shiv/>)を使用しています。

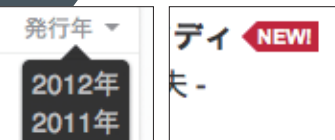
いまだにIE 8以下のシェアは高いため、CSS3の使用に抵抗がある方も多いかと思います。しかしそれらのIE対策との併用は、CSS3に移行する過渡期的な対策として有用な方法だと思いますので、CSS3導入を考える際に、ご紹介したポイントがいくつか参考になればと思います。

※ JavaScript (jQuery) との連動部分やスマホ向けのCSS仕様については、今後の連載記事でご紹介する予定です

:before / :after 擬似要素 (CSS2) によるエレメント追加



ボタンやリンクの小アイコンは :before / :after 擬似要素で追加し、background-image で表示しています



ドロップダウンメニューやNEWアイコンの三角形は、:before / :after 擬似要素とボックスのborder で表現しています



パンくずリストの「>」は、色の違う三角形を :before / :after 擬似要素で2つ重ねて表現しています

```
element:before { /* 下向きの黒い三角形を追加 */  
  content: "";  
  display: block;  
  width: 0;  
  height: 0;  
  border-style: solid;  
  border-width: 10px 10px 0 10px;  
  border-color: #000000 transparent transparent transparent;  
  中略  
}
```

CSSで三角形

高さ・幅とも0にしたボックスのborderの一边だけを色付きにして、他の辺を透明 (transparent または RGBA で透過率を0) にすると、画像を使わずに三角形を表現することができます。なおCSS3の擬似要素では「:before」のようにコロンを2つ表記しますが、IE 8以下が対応していないため、現状は1つの方が無難です

CSS3での角丸、ボックスシャドウ、グラデーション表現

CSS3対応ブラウザでの表示



CSS3未対応ブラウザでの表示 (IE 7の場合)



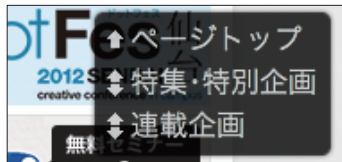
CSS3未対応IEでもグラデーション

CSS3に対応していないブラウザでは、角丸 (border-radius)、ボックスシャドウ (box-shadow)、テキストシャドウ (text-shadow) などが反映されませんが、デザイン的に違和感のないようにしています。背景の線形グラデーション (linear-gradient) については、CSS3非対応のIE向けにはfilterを使用しています

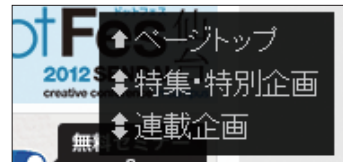
```
.gradient {  
  background-color: #478; /* all */  
  background-image: -webkit-linear-gradient(top, #69c, #369); /* Chrome, Safari */  
  background-image: -moz-linear-gradient(top, #69c, #369); /* Firefox */  
  background-image: -o-linear-gradient(top, #69c, #369); /* Opera */  
  background-image: linear-gradient(top, #69c, #369); /* W3C */  
  filter: progid:DXImageTransform.Microsoft.gradient(startColorstr=#ff6699cc,endColorstr=#ff336699); /* IE */  
}
```

CSS3での背景色の透過表現

CSS3対応ブラウザでの表示



CSS3未対応ブラウザでの表示 (IE 7の場合)



RGBA未対応IEでも半透明な背景色

CSS3のRGBA (透明度付きRGB値) は、半透明のベタ塗り背景を作る際に便利ですが、IE 8以下には未対応です。それらのIE向けには、グラデーション用のfilterを使用して、グラデーションの始点と終点の透過度を同じにすることで半透明の単一色を作ります。要素の透過 (CSS3のopacityや、IEのfilter:alpha) では要素全体に透過効果が反映されてしまうため、背景色だけを透過させるためには、こちらの方法が有効です

```
.alpha {  
  background-color: rgba(0,0,0,5) /* RGBA */  
  filter: progid:DXImageTransform.Microsoft.gradient(startColorstr=#99000000,endColorstr=#99000000); /* IE */  
}
```

CSS3でのアニメーション

通常時



hover時



```
a:hover {  
  background-color: #000  
}  
a:hover img {  
  -webkit-transition: opacity 0.2s linear; /* Chrome, Safari */  
  -moz-transition: opacity 0.2s linear; /* Firefox */  
  -o-transition: opacity 0.2s linear; /* Opera */  
  transition: opacity 0.2s linear; /* W3C */  
  opacity: 0.6;  
}
```

hover時の効果はCSS3対応ブラウザのみ
CSS3アニメーション (Transitions) を、リンク要素hover時のふわっとしたフェードイン/アウト効果などに使用しています。JavaScript (jQuery) を使ってCSS3非対応ブラウザ向けにもほぼ同様の効果を施すこともできますが、一瞬の効果ですので、あえてCSS3対応ブラウザ向けのみとしています

もっと簡単にCSS3 for IE

本サイトは上記のように個々のエレメント別にIE対策や調整を行っていますが、ページに読み込んで一括適用することでIEをCSS3対応にする方法としては、下記のものなどがポピュラーです

- CSS3 PIE: CSS3 decorations for IE (<http://css3pie.com/>)
- cssSandpaper a CSS3 JavaScript Library (<http://www.useragentman.com/blog/csssandpaper-a-css3-javascript-library/>)
- Selectivizr.js (<http://selectivizr.com/>)